

法制法第四號

康德二年一月三十日

法制局長

關東軍第三課長殿

滿洲電業股份有限公司ノ監督ニ關スル件

豫テ御配慮相煩シ居ル首題ノ件ニ關シ之ヲ勅令案トシタル理由概要別紙ノ通御參考迄ニ御送付申上候

滿洲電業股份有限公司ノ監督ニ關スル件

大同二年八月國防ニ重要ナル關係ヲ有スル事業竝特ニ國家ノ統制ヲ必要トスル事業ノ經營ヲ目的トスル會社ハ原則トシテ特殊會社タラシムル方針ノ下ニ當時軍ノ指示ニ基キ別紙ノ如キ案ヲ國務院會議ノ決定ヲ經タル上參議府會議ノ承認ヲ求ムアリ

一、電氣事業ハ右ニ依リ特殊事業トシテ特段ノ監督ヲ爲スヘキ事滿洲國策トシテ既ニ決定シ居ル所ニシテ當時滿人側要人ハ斯克ノ如キ包括的決議ヲ爲スコトニ付其ノ經營資本乃至人的要素カ主トシテ日本側ヲ中心トシテ爲サルコトヲ虞レ名ヲ民業壓迫ニ籍リ反對セムトスル氣勢アリタルニ因リ特段ノ工作ヲ爲シテ之カ通過ヲ見タルモノナリ

一、願フニ電氣供給事業ハ其ノ公共的性質ヨリ觀ルモ其ノ重要産業ニ及ホス影響アリ考フルモ一般企業ニ比シ特別ナル國家的統制ヲ必要トスヘキハ固ヨリ論ナシ

一、然ル所現在滿洲電業股份有限公司カ公司法ニ依ル通常會社トシテ設立セラレタルハ前記國務院會議決定ノ變更ニシテ手續上ヨリスレハ決議變更ノ處置ヲ講シタル上之ヲ爲スヘカリシニ拘ラス此ノ點ニ關シ何等ノ考慮ヲ爲ササリシハ前記決定成立ノ經緯ニ省ミ今後ノ日本國策遂行ノ滿人要人ニ對スル信用上極メテ遺憾ナリト謂ハサルヘカラス

一、會社成立セル今日カカル議論ハ既ニ過去ニ屬スルトスルモ電業公司カ營ム事業ニ對スル國家的統制ノ必要性ニ至リテハ毫末モ變更ヲ來

スルモノニ非ス

一、然モ電業公司ハ現在滿洲ニ於ケル全電氣事業ノ九〇%以上ヲ占ムル現勢ヲ有ス此ノ獨占勢力ト該事業ノ公共性トハ結局公司ノ一舉手一投足モ民衆ニ對シ至大ノ影響ヲ及ボス關係ニ在ルヲ以テ事實上ヨリスルモ^本公司ニ對シ特別ナル監督ヲ爲ス要アルハ疑ナシ

二、而シテ會社ニ對スル監督乃至統制ノ方法ハ別紙國務院會議決定案ニモ明瞭ナル如ク該事業者ニ對シ可及的獨占的勢力ヲ保持セシメ之ニ公益上又ハ事業統制上ノ命令ヲ爲スコトニ依リ事業ノ目的ヲ積極的ニ助長スルト共ニ一方重役ノ選任解任、利益金ノ處分、會社財産ノ處分、定款ノ變更ノ如キ重要事項ニ就キテハ消極的ニ制限ヲ加ヘ會社ノ基礎ヲ確固タラシムルト共ニ其ノ國家的使命ノ遂行ニ資セシメ

ムトセリ

一、會社ニ對スル斯ノ如キ監督乃至制限ヲ單ナル行政上ノ附款ニ依リテ爲サムトスルハ根本的ニ疑念ノ存スル所ナリ蓋シ行政上ノ附款トハ本來ノ行政處分ニ附隨スル條件ニシテ當然行政處分行爲トノ間ニ相當因果關係ノ存スル要アリ前記ノ如ク會社ヲ組織乃至業務執行ノ根本ニ關スル監督ノ如キハ事業許可トノ間ニ當然ノ關聯アリト爲スコト得サルヲ以テ之ヲ許可處分ノ條件トシテ爲スカ如キハ適當ナルモノニアラス

二、行政上ノ附款ハ處分官廳ノ有スル處分權ノ範圍ニ付行ハルルコトヲ要ス然ルニ重役就任ノ認可權、會社ノ決議取消權又ハ重役ノ解任權ノ如キハ公司法上明定セラレタル所ニシテ之ヲ變更セムカ爲ニハ公

司法ト同様ノ效力ヲ有スル法律ノ規定アルヲ要シ附款ノ如キ單ナル處分ヲ以テ之ヲ處理スルコトヲ得ス

一、會社ニ對スル公益上又ハ事業統制上ノ命令ノ如キハ之ニ依リ當然會社ニ或ル種ノ義務ヲ課シ權利ヲ制限スルモノナル所人權保障法ノ規定ヨリ見ルモ斯ノ如キ權利制限ハ法令ノ規定アルニ非サレハ之ヲ強制スルコト不可能ナリ

一、一般的ニ之ヲ考察スルモカカル特殊ノ會社ニ就キテハ其ノ使命ト性質トヲ明定公布シ一般ニ知悉セシメ以テ所期ノ目的ノ達成ヲ計ルヲ以テ最事宜ニ適スルモノト爲スヘク會社ノ監督ニ關スル事項ヲ勅令ニ依リ明定セムトスルハ條理上ヨリ觀ルモ蓋シ當然ノコトニ屬スト謂フヘシ